

(案)

恵那市公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月策定

令和 4 年 3 月改訂

令和 6 年 3 月改訂

恵 那 市

目 次

1. 計画の基本的事項	3
1.1. 公共施設等総合管理計画の背景	3
1.2. 公共施設等総合管理計画の位置づけ	3
1.3. 計画期間	4
2. 人口状況	5
2.1. 人口推移と将来予測	5
2.2. 地域別人口比較	6
2.3. 地域別年齢階層別人口比較	6
3. 財政状況	7
3.1. 歳入の予測	7
3.2. 歳出の予測	8
4. 公共施設等の保有状況	9
4.1. 公共建築物	9
4.2. インフラ施設	16
4.3. 地区別公共施設配置状況	21
4.4. 公共建築物の経費（普通会計分）	29
4.5. 更新費用の試算	30
4.6. 長寿命化対策を行う場合の試算	38
5. 課題の整理と公共施設等維持管理の方向性	45
5.1. 課題の整理	45
5.2. 公共施設等維持管理の方向性	45
6. 公共建築物再配置の指針と目標	47
6.1. 基本指針	47
6.2. サービスの提供方法の検討	48
6.3. 複合化の推進	49
6.4. 公共建築物受益者の範囲を考慮した配置	51
6.5. 再配置による公共建築物保有量の目標	55
7. インフラ施設の維持管理の指針	56
7.1. 長寿命化と安全確保	56
7.2. 点検・診断等の実施	57
7.3. 維持管理・修繕・更新等の実施	58
7.4. 長寿命化の実施	59
7.5. 復旧計画の策定	60
7.6. 安全確保の実施	60
8. 維持管理・運営の効率化	61
8.1. 民間との連携	61
8.2. 庁内の横断的協力	61
9. 公共施設等総合管理計画の実施体制	62
10. フォローアップ	62
11. 公共建築物小分類別再配置指針	63

1. 計画の基本的事項

1.1. 公共施設等総合管理計画の背景

現在、日本全国で公共建築物及びインフラ施設を含めた公共施設等の老朽化対策が大きな課題になっています。

戦後の人口増加と経済発展に伴い公共施設等は整備されてきましたが、近い将来に多くの公共施設等が更新時期を迎えて財政を圧迫することが懸念されています。また、平成 24 年 12 月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故のように公共施設等の老朽化が原因となった事故も発生しており、公共施設等の管理者には安全の確保が強く求められています。

図 1.1-1 に公共施設等総合管理計画の対象となる施設の区分を示します。

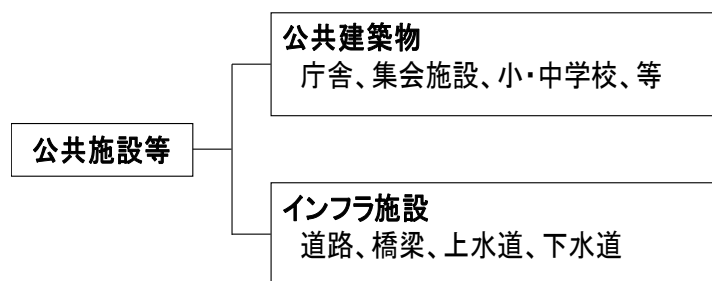


図 1.1-1 公共施設等総合管理計画の対象施設

1.2. 公共施設等総合管理計画の位置づけ

国土交通省は平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、インフラ施設の戦略的な維持管理・更新を推進するための方針を示すとともに、インフラ施設管理者に「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定するよう求めています。

これを受けて総務省は、平成 26 年 4 月に地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請しました。

公共施設等総合管理計画は、恵那市（以下、本市）が保有するすべての公共建築物及びインフラ施設を管理していく上での基本方針を示すもので「インフラ長寿命化基本計画」における地方公共団体においてインフラ長寿命化計画（行動計画）に該当します。その方針に従い、令和 2 年 9 月に「恵那市公共施設個別施設計画」（以下、「個別施設計画策」）を策定し、公共施設等の管理を実施しています。

このたび、令和 3 年 1 月 26 日付けで総務省から示された「令和 3 年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について」に基づき、「恵那市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」）の見直しを図ることとします。

図 1.2-1 に公共施設等総合管理計画の位置づけを示します。

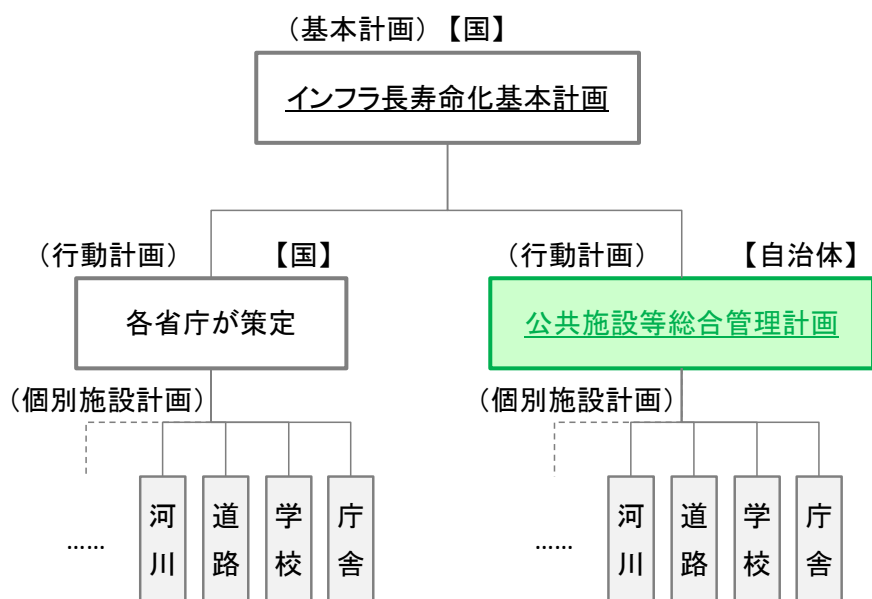


図 1.2-1 公共施設等総合管理計画の位置づけ

1.3. 計画期間

中長期的な視点に立った公共施設等の管理を実施するため、本計画の計画期間は、令和4年度から令和37年度までの34年間とします。

ただし、公共建築物については、平成28年3月に恵那市が策定した「恵那市公共施設再配置計画」に基づき、10年後の将来人口を見据えた公共建築物のあり方を示します。

公共施設等の管理に関する個別施設計画等と連携し、各計画において管理方針の見直し等が行われた際には、適宜、本計画に反映するものとします。



2. 人口状況

2.1. 人口推移と将来予測

平成27年から令和2年にかけて、本市の人口は51,073人から47,774人となり、6.5%減少しました。令和12年の将来人口は約42,900人となり、令和2年と比較して10.2%の減少と推計され、その後も、さらに人口減少が加速すると予測されます。

令和2年10月に策定した「第2期恵那市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」によると令和27年には総人口が34,315人まで減少すると推測されます。この傾向が続けば特に65歳以上の高齢者が総人口に占める割合は平成27年の32.6%から、団魂の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7年に37.2%、令和27年は、44.3%まで増加し2人に1人が65歳以上の高齢者になると予測されます。このため「第2次総合計画後期基本計画」だれもが住んでみたい、住み続けたいと思う施策を総合的に展開することにより自然動態や社会動態の改善に努め、地域コミュニティを維持していけるよう、令和7年における目標人口を46,000人としています。

しかしながら人口減少対策を講じてもなお、人口減少及び少子高齢化が進行すると予想され、加えて年齢層別の人口と、その構成比が大きく変化することや、平均世帯人員も減少傾向となり老人世帯の増加や核家族化が進行することがうかがえます。公共施設に必要な機能の変化が予想され、今後は公共施設に求められる長期的な需要を勘案し、適切に対応する必要があります。

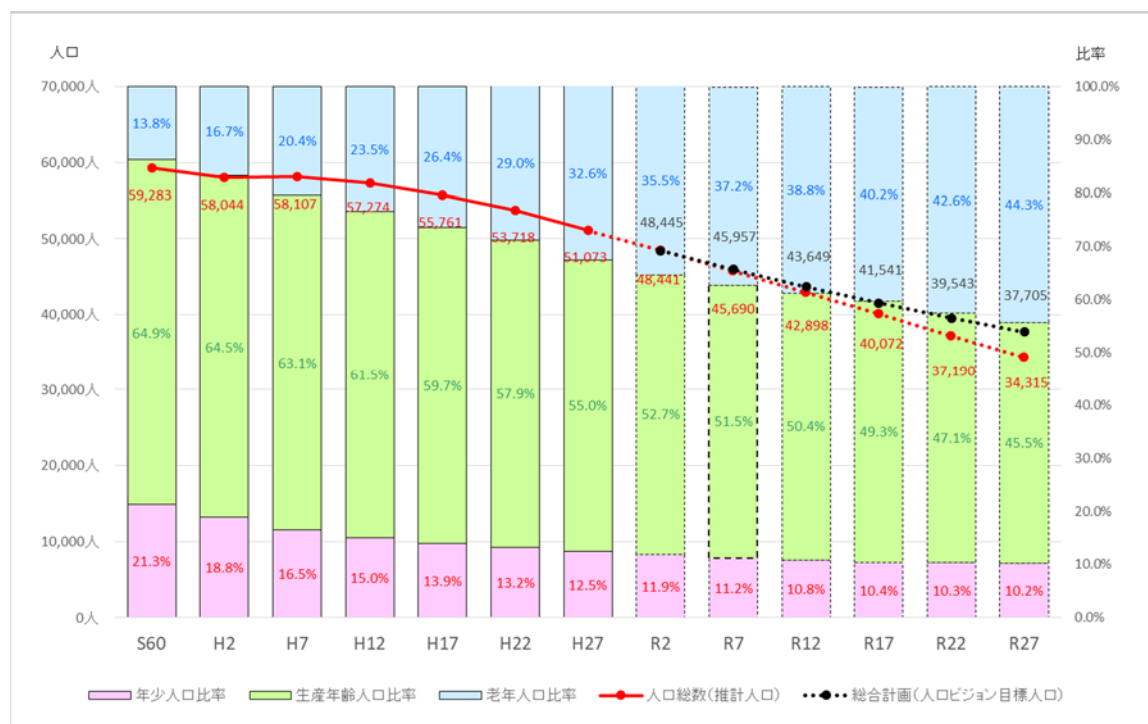


図 2.1-1 国勢調査人口の推移と将来推計

出典：国勢調査（昭和55年～平成27年人口）

出典：第2次恵那市総合計画後期基本計画

第2期恵那市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

2.2. 地域別人口比較

平成22年から平成27年までの5年間の人口減少は、2,645人、4.9%減少となっています。減少率が低い大井町・長島町地区でも、それぞれの人口が13,259人、9,758人となり、262人（1.9%）、182人（1.8%）の減少となりました。

減少率の高い飯地町と上矢作町地区においては、人口がそれぞれ621人、1,960人となり、112人（15.3%）、279人（12.5%）の減少となっており、特に笠周地域及び恵南地域の人口減少率が高くなっています。

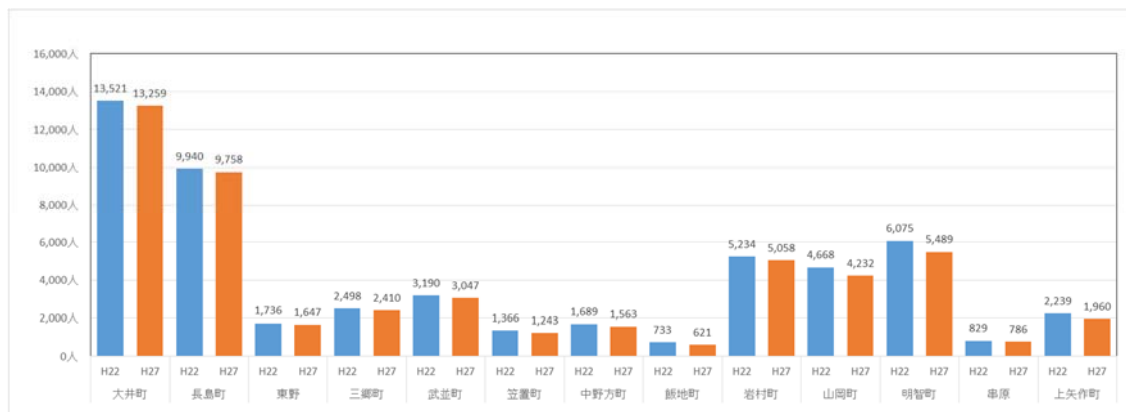


図 2.2-1 地域別人口比較

出典：国勢調査

2.3. 地域別年齢階層別人口比較

平成22年と平成27年を比較すると、生産年齢人口が13地区すべてにおいて減少しており、老年人口は3地区以外においては増加しているため、今後は、地域によっては、生産年齢人口を老年人口が上回ると推測されます。

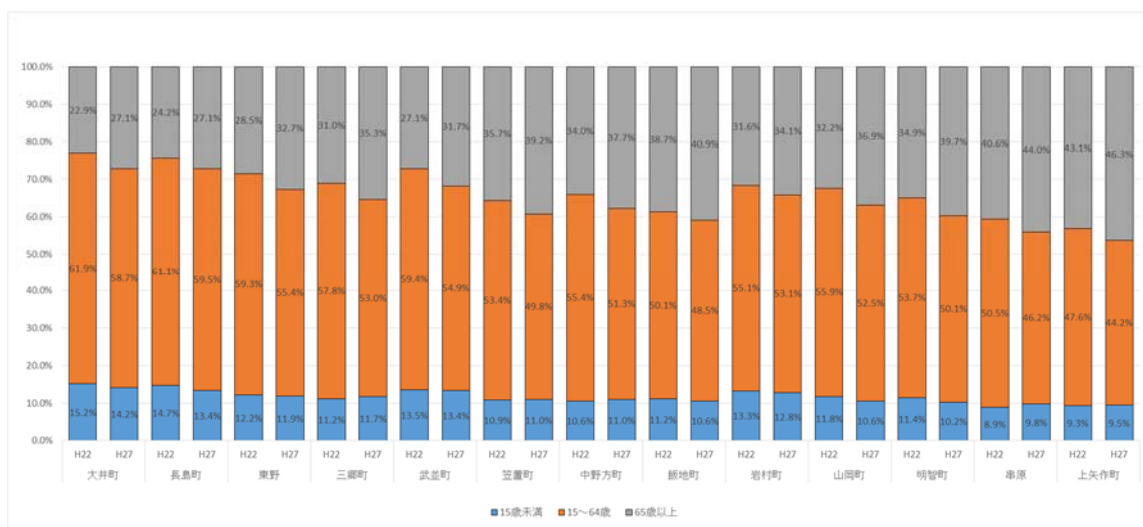


図 2.3-1 地域別年齢階層別人口比較

出典：国勢調査

3. 財政状況

3.1. 歳入の予測

長期財政計画で令和7年度の普通会計の歳入推計額の内訳をみると、最も大きな割合を占めているのは、地方交付税（37.5%）及び市税（24.9%）です。自主財源である市税は、平成25年度から令和7年度までほぼ同額で推移します。地方交付税は合併による特例措置が段階的に縮減されるため、平成25年度をピークに令和7年度までに約14.0%が減額となります。このため、歳入総額は、平成25年度から令和7年度までに約18億円の減少となります。

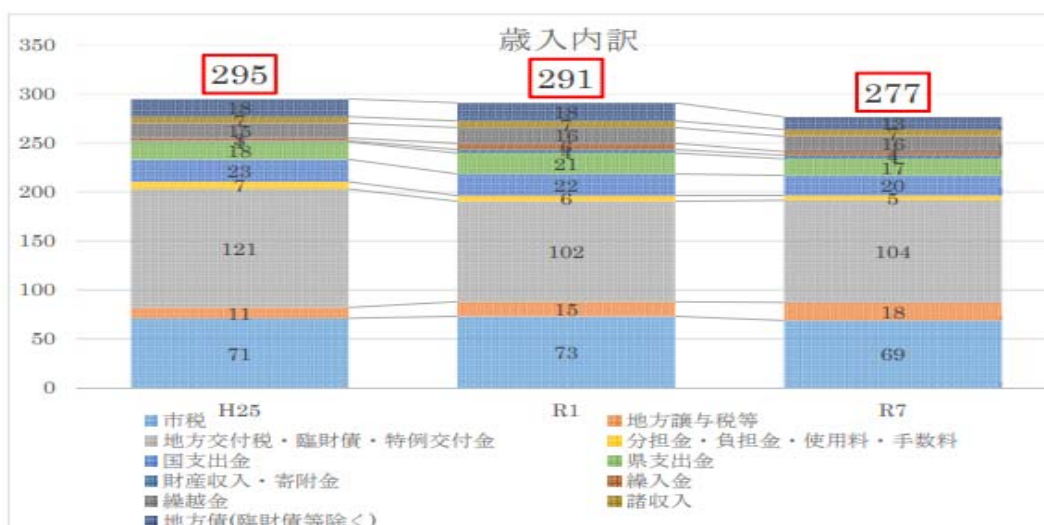


図 3.1-1 令和7年度の歳入推計内訳—歳入額の推移（普通会計）

出典：恵那市中・長期財政計画（令和2年9月改定）

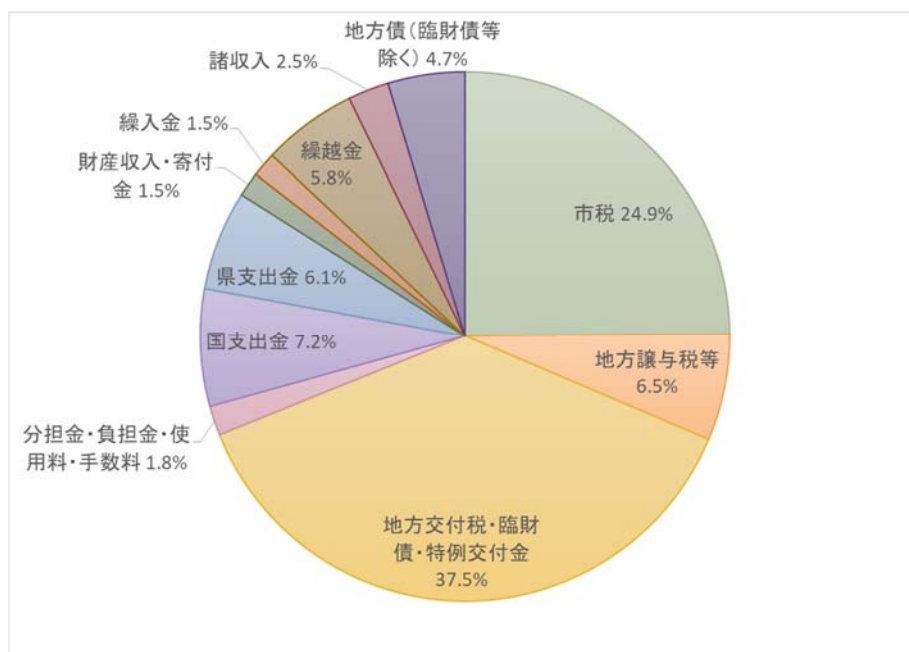


図 3.1-2 令和7年度の歳入推計内訳—歳入の構成比率

出典：恵那市中・長期財政計画（令和2年9月改定）

3.2. 歳出の予測

長期財政計画で令和7年度の普通会計の歳出推計額の内訳をみると、大きな割合を占めているのは人件費（18.0%）です。

令和7年度は、平成25年度と比較して扶助費、物件費、人件費、投資及び出資金貸付金、補助費等は増額するものの、その他の支出では減額となります。公共建築物やインフラ施設の整備に充てられる投資的経費は、平成25年度から令和7年度までに約10億円減額され、33億円となります。

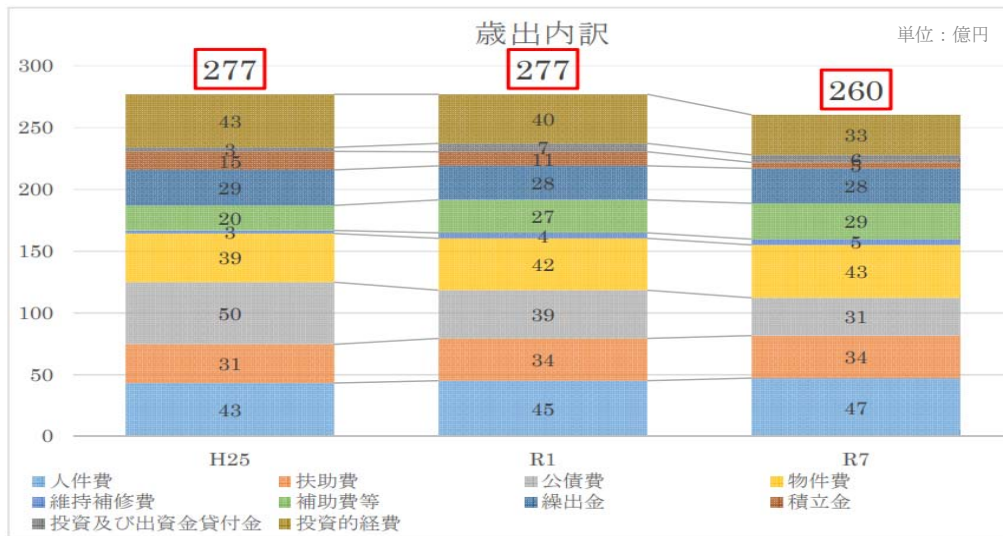


図 3.2-1 令和7年度の歳出推計内訳—歳出額の推移（普通会計）

出典：恵那市中・長期財政計画（令和2年9月改定）

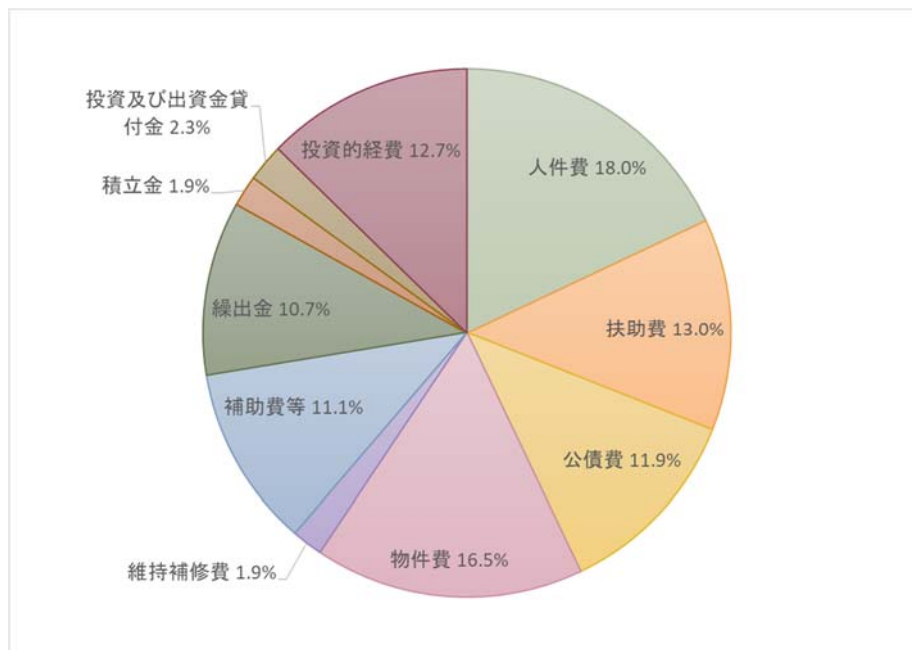


図 3.2-2 令和7年度の歳出推計内訳—歳出の推移（普通会計）

出典：恵那市中・長期財政計画（令和2年9月改定）

4. 公共施設等の保有状況

4.1. 公共建築物

恵那市における公共建築物の状況は、平成16年10月に1市5町村の市町村合併をしたことにより、庁舎や消防施設、小・中学校、公営住宅など多くの公共建築物を保有することとなりました。旧市町村の地域特性や行政需要が背景となり、多種多様な施設や類似した施設が存在し、スポーツ施設や文化施設など市民のレクリエーションや健康増進、文化振興のために設置された施設においても合併以前の状態で継続して配置されています。

令和元年度末時点で、本市の公共建築物の合計床面積は約36.7万㎡であり、市民一人当たりの施設床面積は7.41㎡で、全国平均（3.70㎡/人）の約2倍になります。

施設分類別で見ると、学校教育系施設が最も施設規模が大きく、全体の約30.1%を占めています。次に公営住宅（9.4%）、医療系施設（9.0%）、行政系施設（8.1%）となります。

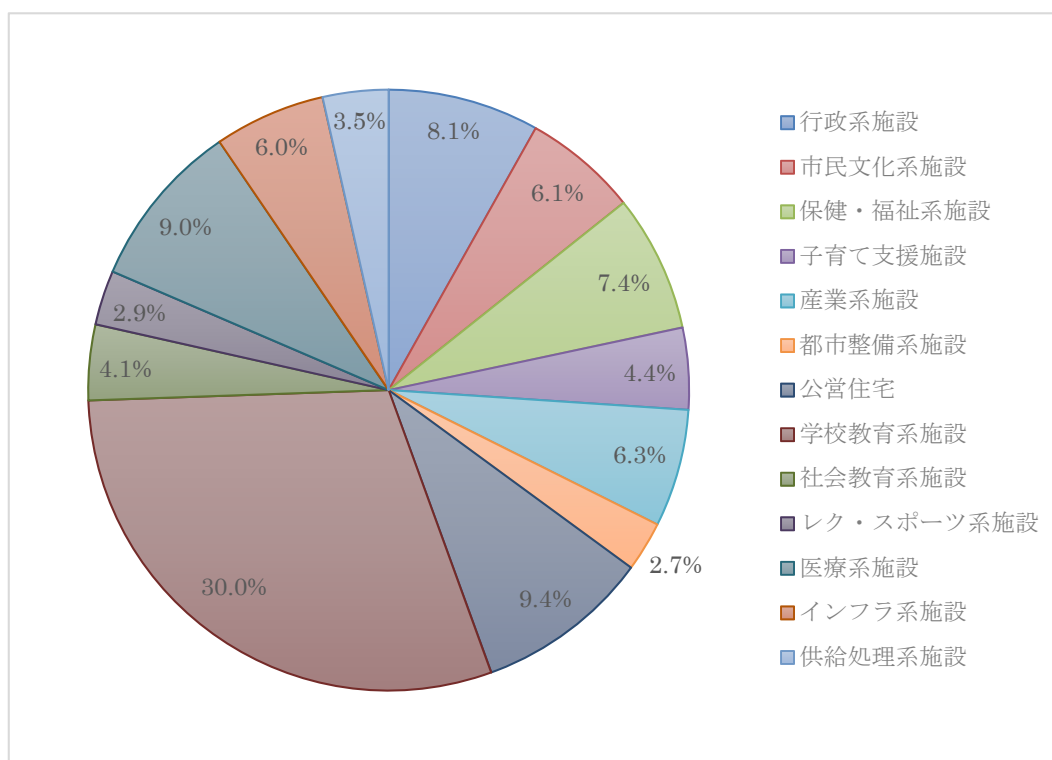


図4.4-1 公共建築物分類別延床面積

※全国平均値は、総務省の「令和元年度公共施設状況調」の公有財産延べ床面積を、総務省の「人口推計（令和2年4月1日現在）」で除する値

建築年代別にみると、建築年不明も含めて、築30年以上の施設が約41%、約15.2万㎡あり、老朽化対策（改修・建替え）の必要があります。老朽化対策が必要な施設のうちでは、学校教育系施設が7.0万㎡あり、約46%を占めています。

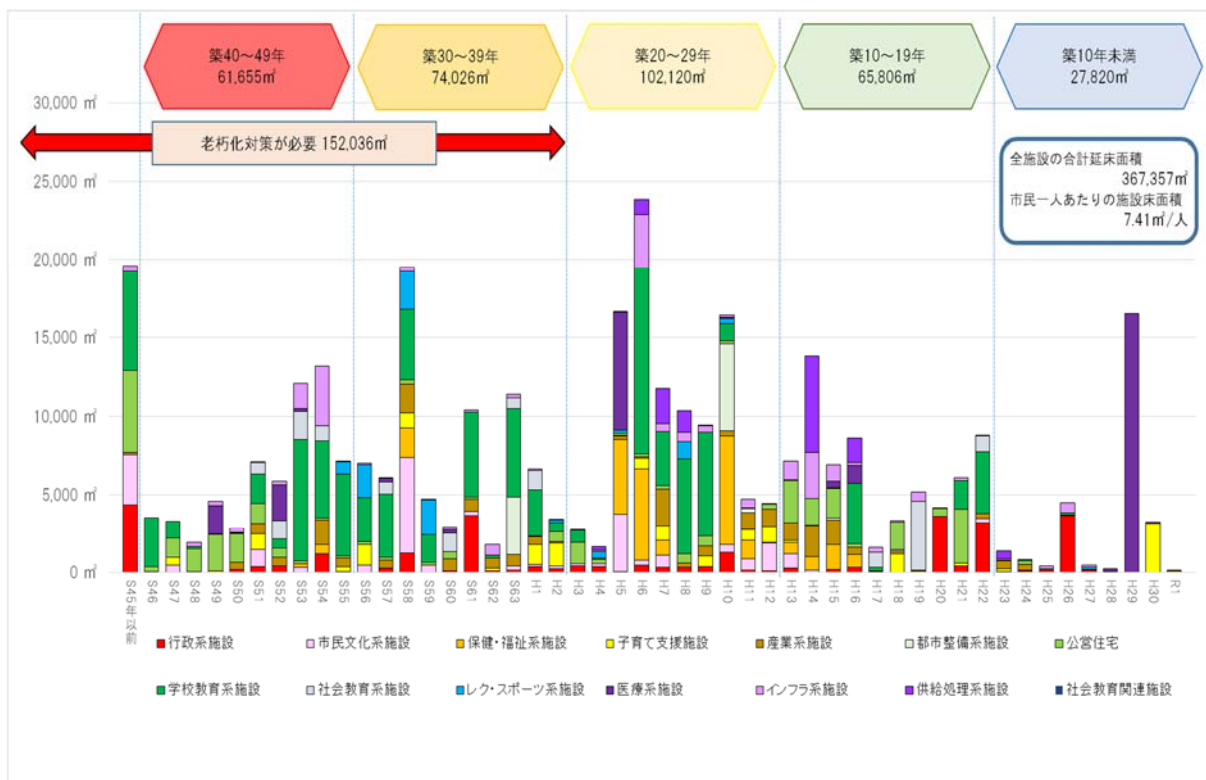


図 4.1-2 建築年度別公共建築物延床面積

(令和元年度末現在)

地区別に見ると、旧恵那市地区で市全体の延床面積の約半分を占めています（市全体で約 36.7 万㎡、旧恵那市地区で約 20.0 万㎡）。

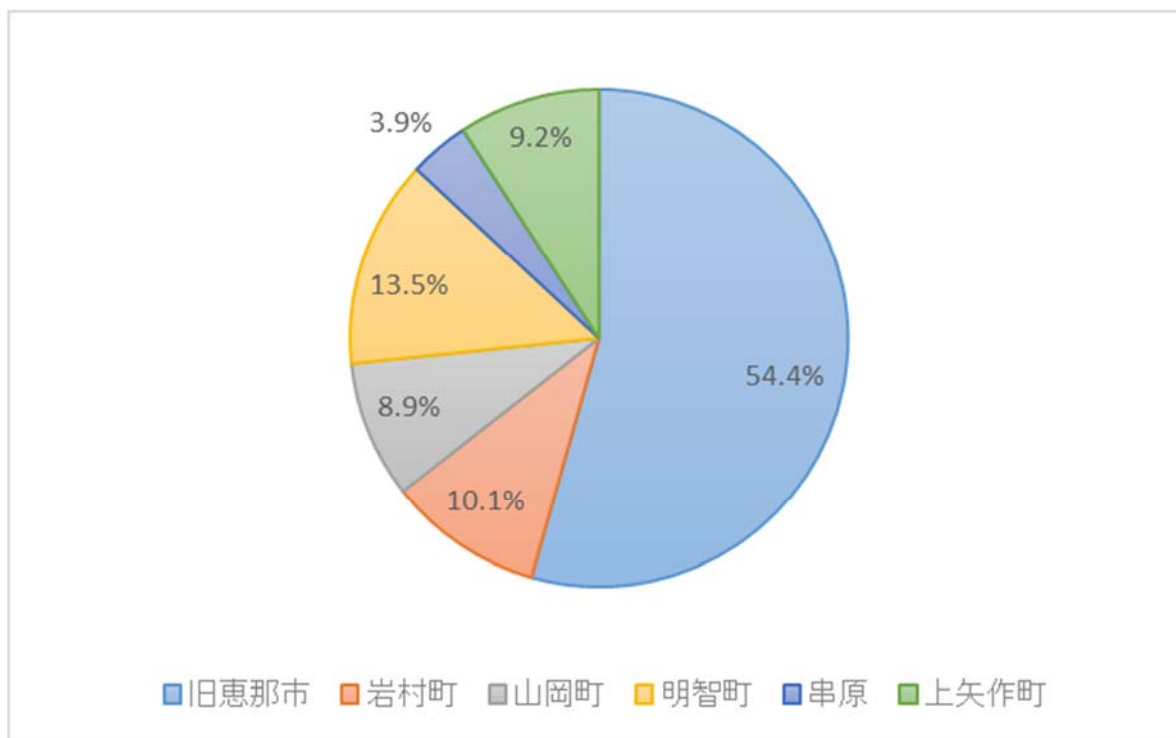


図 4.1-3 地区別延床面積

人口1人当たりの施設床面積を地区別で比較してみると、旧恵那市の地区より南部（恵南の旧町村）の地区の数値が大きい状況となります。

これは、人口の多寡にかかわらず各旧自治体で必要な施設が整備され、そのまま合併後の新市に引き継がれたためです。

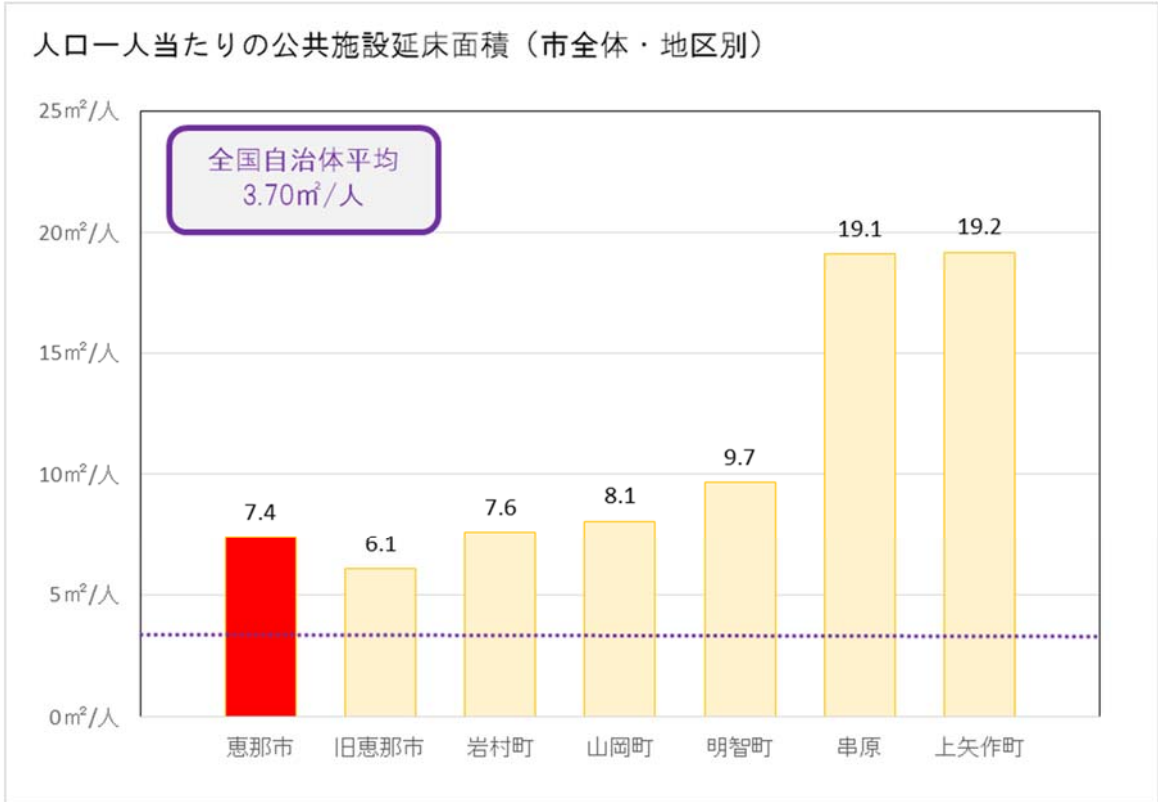


図 4.1-4 人口一人当たりの公共施設延床面積

人口：住民基本台帳（令和2年4月1日現在）

表 4.1-1 建物減価償却率の推移

年度	減価償却率
H27年度末	57.9%
H28年度末	60.0%
H29年度末	61.5%
H30年度末	62.0%
R元年度末	62.7%

表 4.1-2 過去に行った対策の実績

年度	施設名称	工事内容	金額	
			(百万円)	
H28年度	山岡振興事務所	食堂棟改修	2.3	
	養護老人ホーム 恵光園	空調設備改修工事	14.1	
	大洞団地集会所	下水接続工事	1.3	
	明智小学校	屋内運動場耐震化工事	3.5	
	上矢作小学校	屋内運動場耐震化工事	3.3	
	山岡小学校	屋内運動場耐震化工事	1.6	
	串原小学校	屋内運動場耐震化工事	3.2	
	明智中学校	屋内運動場耐震化工事	2.8	
	岩邑中学校	屋内運動場耐震化工事	2.1	
	上矢作中学校	屋内運動場耐震化工事	3.1	
	恵那学校給食センター	有圧換気扇フィルタ	2.1	
	中山道広重美術館	学習展示室スポット照明工事	1.3	
	串原コミュニティセンター・串原振興事務所	改修工事	135.4	
	三郷分団野井コミュニティ消防センター	浄化槽工事	2.3	
	田舎じまん館	場内動線改良工事（真空梱包）	1.1	
	アグリパーク恵那 管理棟	屋根改修工事	15.7	
	南部農業者トレーニングセンター	トイレ工事	1.0	
	岩村城趾蘭丸 管理棟	トイレ浄化槽工事	3.6	
	H29年度	恵那市役所	会議棟ピロティ屋根	4.1
		恵那市役所	4F会派控室空調設備更新工事	1.3
恵那市役所		第一、第二委員会室空調設備改修	2.5	
上矢作コミュニティセンター		屋根改修工事	8.0	
笠置コミュニティセンター		増築工事	68.1	
上矢作学童クラブ		電気設備・蓄電池・他	2.5	
武並学童クラブ		冷房・暖房設備・他	4.2	
恵那市福祉センター		1階女子トイレ改修	1.2	
岩邑いきがい会館		空調設備設置工事	1.3	
養護老人ホーム 恵光園		ナースコール設備改修工事	6.4	
介護老人保健施設 ひまわり		ナースコール設備改修工事	20.5	
えな斎苑		葬炉設備補修	3.1	
武並小学校屋内運動場		技術室改修工事	2.5	
飯地小学校屋内運動場		場耐震化工事	1.7	
恵那北小学校屋内運動場		場耐震化工事	1.8	
大井小学校屋内運動場		場耐震化工事	2.3	
大井第二小学校屋内運動場		場耐震化工事	3.5	
長島小学校屋内運動場		場耐震化工事	2.2	
東野郷土資料館		改修工事	3.1	
武並小学校屋内運動場		電気設備・機械設備他	332.2	
恵那西中学校屋内運動場		場耐震化工事	3.1	
恵那北中学校屋内運動場		場耐震化工事	3.9	
中山道広重美術館		1階常設展示室スポット照明工事	2.5	
山岡B&G海洋センター		非構造部材耐震化工事他	22.2	
えなてらす		1階空調改修	3.0	
くしはら温泉周辺施設		建設工事他	244.5	

年度	施設名称	工事内容	金額
			(百万円)
H30年度	東野コミュニティセンター	改修工事（建物他）	45.1
	山岡コミュニティセンター	空調設備	1.2
	上矢作コミュニティセンター	空調設備	25.9
	東野学童クラブ	エアコン設備	1.2
	恵那市福祉センター	2階女子トイレ改修	1.0
	老人福祉施設 明日香苑	ナースコール設備改修工事	14.5
	恵那東中学校	渡り棟大規模改造他	368.1
	恵那学校給食センター	空調設備設置工事	39.4
	城ヶ丘こども園	園舎工事他	34.4
	中山道広重美術館	2階企画展示室照明工事	2.4
	まきがね公園体育館	大規模改修 建築工事他	179.8
	恵那市消防本部	消防指令台署所増設工事他	31.1
	大正ロマン館	高圧受電設備	1.9
R元年度	恵那市共同福祉会館	便所改修工事	2.7
	山岡コミュニティセンター	図書室空調機	1.2
	長島学童保育所	児童用トイレ	4.0
	三郷学童クラブ	電気設備他	2.1
	岩村学童クラブ	エアコン設備	6.5
	大井児童センター	遊戯室エアコン設備	1.4
	特別養護老人ホーム 福寿苑	居室ルームエアコン整備	80.5
	岩邑小学校	非構造部材耐震化他	15.1
	恵那西中学校	駐輪場	8.3
	山岡小学校プール	汚物中継槽	4.3
	中山道広重美術館	入退室・中央監視システム更新	5.3
	恵那文化センター	天井改修工事	135.2
	まきがね公園テニスコート	夜間照明他	40.5
	消防防災センター駐車場	駐車場照明取付工事	1.3
	明智分団大田消防器具庫	改修工事(追加工事)	11.1
	根の上高原 保古の湖トイレ	改修工事	6.6
	大正村駐車場	男子トイレ、女子トイレ	3.3
	道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里	改修工事	100.3
	恵那峡トイレ	ひといき屋根改修	1.2
	大正ロマン館	屋上改修	1.5
	ささゆりの湯	温水循環型バルクユニット他	4.2
	恵那山荘	空調・給湯系膨張タンク設置修繕	1.1
岩村マレットゴルフ場	休憩施設	3.5	

年度	施設名称	工事内容	金額
			(百万円)
R2年度	明智振興事務所	1F空調修繕	1.2
	上矢作コミュニティセンター	講堂照明器具修繕	1.3
	恵那文化センター	舞台機構暗転幕取替修繕	1.0
	恵那文化センター	直流電源装置改修工事	6.2
	永田コミュニティ消防センター	屋根改修	1.7
	明日香苑	大規模改修工事	131.4
	福寿苑	大規模改修工事	249.9
	明智ひとつばたご	車椅子利用者対応改修	1.2
	道の駅らっせいみさと	施設改修工事	57.0
	中山道広重美術館	空調機・防水改修工事	34.7
	岩村地域特産物直売所	トイレ改修工事	1.2
	岩村診療所	スロープ設置・トイレ洋式化工事	5.0
	大正ロマン館	改修工事	4.1
	大正村資料館	屋根葺き替え工事	6.6
	大正村役場	外壁塗装改修工事	2.3
	恵那市学校給食センター	屋根修繕	6.6
	エコセンター恵那	施設維持修繕	102.7
	藤花苑	循環ポンプ他修繕	33.7
	まきがね公園体育館	非常用発電機更新工事	10.9
	山岡B&G海洋センター	プールテント修繕工事	1.3
	明智B&G海洋センター	プールテント張替工事	8.1
	明智弓道場	屋根改修	3.3
	奥矢作レクリエーションセンター	トイレ等修繕工事	2.5
	大井こども園 ほか3こども園	トイレ改修工事他	7.7
	大井小学校 ほか7小学校	トイレ洋式化工事	124.6
	恵那西中学校 ほか2中学校	外壁改修工事他	3.9
R3年度	恵那市役所	議場等改修工事他	115.2
	三郷コミュニティセンター	改修工事	114.0
	明智振興事務所	2階便所改修工事	1.2
	明智かえでホール	屋根雨漏り修繕工事	1.2
	消防本部	通信指令室エアコン改修工事	3.0
	上矢作分署	屋根改修	1.3
	明智分団 吉良見消防器具庫	改修工事	2.6
	飯地分団1部	改修工事	17.9
	飯地コミュニティ消防センター	改修工事	17.9
	養護老人ホーム 恵光園	浴室改修工事	14.6
	介護老人保健施設 ひまわり	大規模改修工事	266.3
	岩村福祉センター	高圧受電設備修繕工事	1.0
	道の駅おばあちゃん市・山岡	空調修繕・施設改修	61.7
	大正ロマン館	駐車場舗装工事	1.6
	ささゆりの湯	空調設備改修・ポンプ取替	36.9
	山岡学校給食センター	機器更新・センター統合	73.5
	エコセンター恵那	施設維持修繕	199.2
	藤花苑	機械器具修繕工事他	28.4
	恵南衛生センター	搬出室動力制御盤修繕	1.4
	山岡農村環境改善センター	高圧機器改修工事	1.2
	まきがね公園	滑り台ローラー取替修繕	8.0
	明智B&G海洋センター	雨漏り修繕工事	1.2
	山岡B&G海洋センター	プールテント修繕工事	1.1
	三郷小学校	大規模改修工事	312.2
	大井小学校 ほか8小学校	教室改修工事他	128.1
	恵那東中学校 ほか2中学校	体育館照明改修工事他	9.3

年度	施設名称	工事内容	金額
			(百万円)
R4年度	山岡振興事務所	空調機取替工事	3.3
	東野コミュニティセンター	空調室外機修繕	1.9
	三郷コミュニティセンター	空調機取替修繕	1.3
	三郷診療所	トイレ洋式化工事	3.8
	三郷小学校屋内運動場	大規模改修工事	88.4
	飯地コミュニティセンター・飯地診療所	大規模改修工事	127.4
	恵那文化センター	防火設備修繕工事他	4.6
	中山道広重美術館	外壁改修工事	27.6
	中央公園	整備工事	152.7
	恵那駅西駐車場	大規模修繕	151.6
	上矢作分署	仮眠室改修工事	8.5
	中野方分団2部	改修工事	11.3
	中野方コミュニティ消防センター		
	笠置分団 姫栗コミュニティ消防センター	改修工事	19.4
	岩村分団第三部消防器具庫	床下腐食部改修工事	1.2
	恵那病院	監視カメラ機器取替修繕他	14.1
	養護老人ホーム 恵光園	玄関アプローチ改修工事	2.3
	こども発達センターおひさま	空調設備改修工事	3.1
	中野児童センター	手洗い場等修繕工事	1.5
	岩村福祉センター	空気弁修繕工事	1.0
	明智福祉センター	屋根防水修繕工事	1.3
	山岡健康増進センター	大規模改修工事	143.7
	タウンプラザ恵那	2階空調設備改修工事	6.3
	不動滝農産物直売所	屋根修繕工事	1.3
	岩村藩鉄砲鍛冶加納家	壁側面修繕	1.2
	岩村まちなみふれあいの館	外部改修工事	1.1
	道の駅おばあちゃん市・山岡	木製水車修繕工事他	2.8
	恵那市学校給食センター	機器修繕	1.9
	えな斎苑	屋根修繕工事	3.3
	エコセンター恵那	経年劣化修繕工事他	199.6
	藤花苑	循環ポンプ他修繕	56.4
	まきがね公園多目的広場	防球ネット修繕	1.2
	山岡B&G海洋センター	プールテント修繕工事	1.3
	上矢作体育館	玄関建屋雨漏り修繕工事	9.8
大井こども園 ほか8こども園	トイレ洋式化改修他	165.1	
大井小学校 ほか8小学校	教室改修工事他	45.8	
恵那東中学校 ほか7中学校	トイレ洋式化工事他	138.2	

4.2. インフラ施設

本市が所有するインフラ施設の、令和元年度末時点の総量を下表に示します。

表 4.2-1 恵那市が所有するインフラ施設

施設種別		総量	
道路		総延長	1,640,430m
		面積	7,605,943㎡
橋梁	709橋	総延長	8,089m
		面積	40,087㎡
上水道	管路	総延長	945,420m
下水道	管路	総延長	370,467m

4.2.1. 道路

本市には、市道、農道、林道を合わせて総延長 1,640,430m、道路面積 7,605,943 ㎡の道路があります。

市道は、国が管理する国道、県が管理する県道、隣接する近隣の市町村道と連携して道路網を形成しています。

道路の主たる役割は人と物の移動経路となる交通機能ですが、同時に街の形状の骨格であり、電気・ガス・水道など他のインフラ施設も道路上又は道路の地下でネットワークを形成しており、生活する上で欠かせない重要な施設です。

表 4.2-2 道路施設量の推移

道路		市道			農道	林道
		1級	2級	その他		
H28	延長 (m)	136,480	93,048	908,933	180,705	319,477
	面積 (㎡)	1,099,924	613,401	3,998,498	592,484	1,271,010
H29	延長 (m)	136,527	93,030	909,333	180,705	319,508
	面積 (㎡)	1,107,240	613,542	4,001,816	592,484	1,271,134
H30	延長 (m)	136,517	93,030	909,377	180,705	320,311
	面積 (㎡)	1,107,424	615,234	4,003,736	592,484	1,274,092
R元	延長 (m)	136,792	93,030	909,512	180,705	320,391
	面積 (㎡)	1,114,821	615,234	4,008,992	592,484	1,274,412

表 4.2-2-1 道路減価償却率の推移

年度	減価償却率
H27年度末	47.6%
H28年度末	48.7%
H29年度末	50.2%
H30年度末	51.3%
R元年度末	52.3%

4.2.2. 橋梁

令和元年度末時点の本市が管理する橋梁の総数は709橋であり、総延長は8,089mとなっています。

表 4.2-3 橋梁施設量の推移

橋梁		PC橋	RC橋	鋼橋	石橋	その他
H28	橋梁数（橋）	261	356	81	3	8
	延長（m）	3,400	2,270	2,338	8	73
	面積（㎡）	17,998	10,428	11,371	22	268
H29	橋梁数（橋）	261	356	81	3	8
	延長（m）	3,400	2,270	2,338	8	73
	面積（㎡）	17,998	10,428	11,371	22	268
H30	橋梁数（橋）	261	356	81	3	8
	延長（m）	3,400	2,270	2,338	8	73
	面積（㎡）	17,998	10,428	11,371	22	268
R元	橋梁数（橋）	261	356	81	3	8
	延長（m）	3,400	2,270	2,338	8	73
	面積（㎡）	17,998	10,428	11,371	22	268

表 4.2-3-1 橋梁減価償却率の推移

年度	減価償却率
H27年度末	75.2%
H28年度末	76.0%
H29年度末	76.8%
H30年度末	77.7%
R元年度末	78.5%

本市の橋梁は、建設年度別に建設量の変動が見られます。

建設年度別が明らかな橋梁 187 橋、総面積 19,414 m²について、図 4.2-1 で建設年度別に見てみると、昭和 40 年から昭和 49 年までの 10 年間に最初の建設ピークがあり（67 橋、6,677 m²、約 30%）、直後の昭和 50 年代の 10 年間では一転して減少しています（26 橋、2,559 m²、約 13%）。

橋梁の耐用年数を減価償却資産の耐用年数等に関する省令で定められた法定耐用年数である 60 年と設定すると、昭和 40 年代に建設された橋梁は、令和 7 年前後から集中的な更新時期を迎えることとなります。

また、耐用年数超過の橋梁が 7 橋、414 m²、建設年度不明の橋梁が 522 橋、20,673 m²あるため、これらの橋梁については老朽度の調査と安全対策が必要になります。

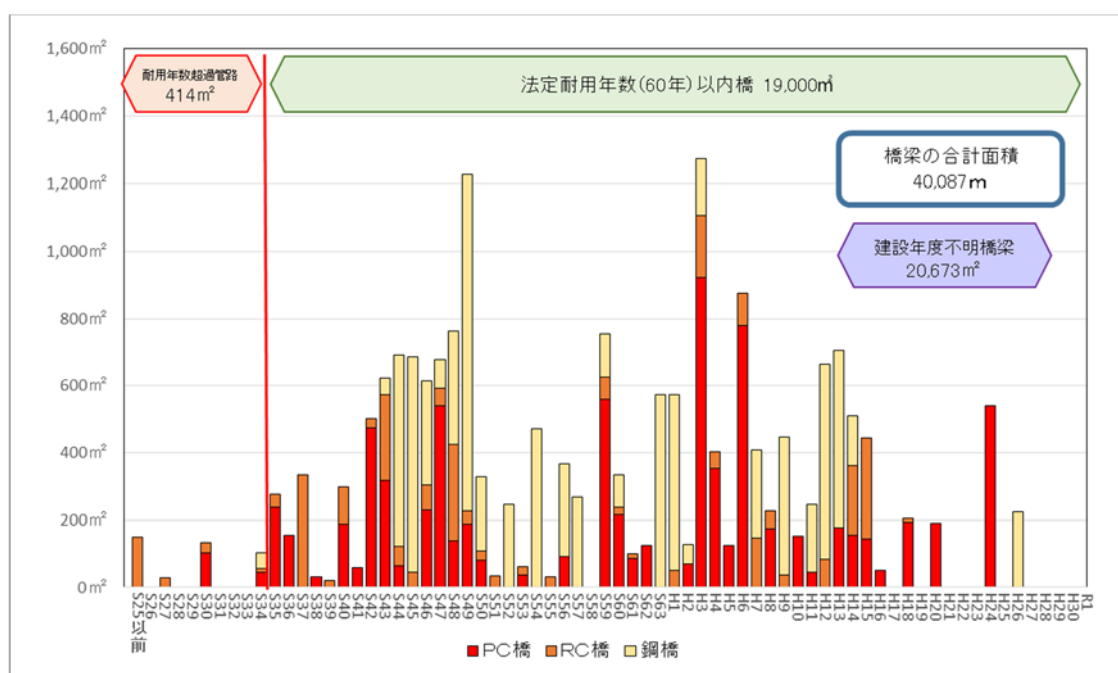


図 4.2-1 建設年度別構造別橋梁面積

4.2.3. 上水道

恵那市が保有する上水道管路の総延長は 945,420m あり、9 割以上を配水管が占めています。また、布設年度別に見ると、地方公営企業法施行規則で定められた配水管の法定耐用年数である 40 年を経過した管路が 179,920m あり、今後はこれらの管路の更新が必要になります。

表 4.2-3 上水道管路延長の推移

上水道		総延長	導水管	送水管	配水管
H28	管路延長 (m)	905,551	19,375	63,131	823,045
H29	管路延長 (m)	942,553	15,909	53,826	872,818
H30	管路延長 (m)	944,145	15,875	53,826	874,444
R元	管路延長 (m)	945,420	15,875	53,479	875,796

表 4.2-4-1 上水道減価償却率の推移

年度	減価償却率
H27年度末	45.7%
H28年度末	47.6%
H29年度末	49.9%
H30年度末	52.1%
R元年度末	54.3%

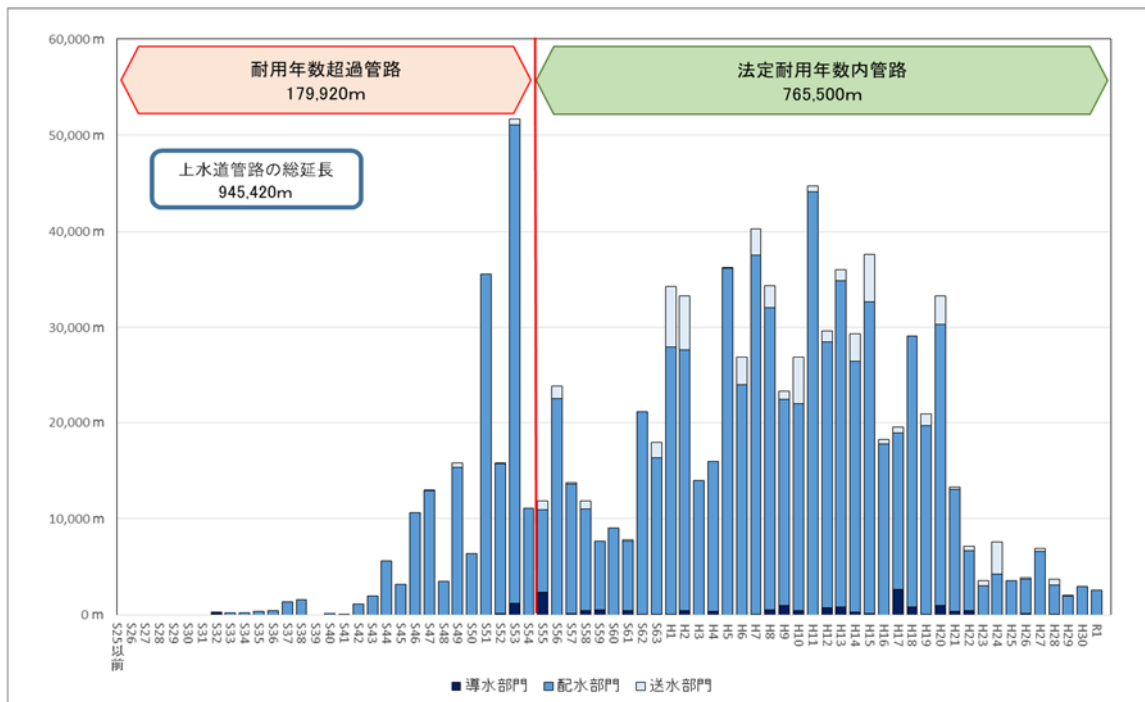


図 4.2-2 布設年度別上水道管路延長

4.2.4. 下水道

本市が保有する下水道管路の総延長は、370,467mです。管路の構造では、塩ビ管が全体の9割程度を占めています。

国土交通省通知「下水道の改築について」で定められた標準耐用年数である50年を経過した管路はまだありません。

表 4.2-5 下水道管路延長内訳

下水道		総延長	コンクリート管	陶管	塩ビ管ほか
H28	管路延長 (m)	367,140	17,909	8,112	341,119
H29	管路延長 (m)	367,140	17,909	8,112	341,119
H30	管路延長 (m)	370,467	17,909	8,112	344,446
R元	管路延長 (m)	370,467	17,909	8,112	344,446

表 4.2-5-1 下水道減価償却率の推移

年度	減価償却率
H27年度末	37.6%
H28年度末	39.5%
H29年度末	41.3%
H30年度末	42.8%
R元年度末	44.7%

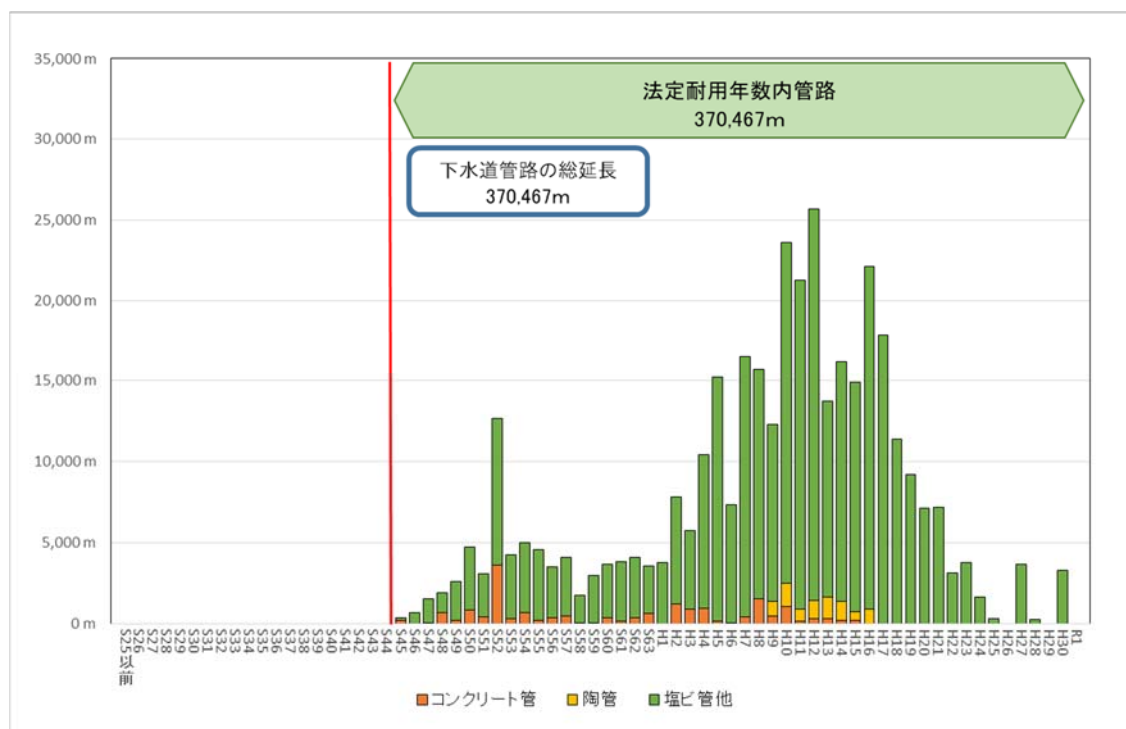


図 4.2-3 布設年度別下水道管路延長

4.3. 地区別公共施設配置状況